

論語と経済学

経済学部教授 遠山 馨

論語を読み返してみた、50年代中頃のことである。余りに忙しかったので、気分転換のために毎日少しずつ読んだ。論語は江戸時代の昔から終戦までの日本人の倫理観を形成した思想であり、読んでいくうちに、人口に膾炙された名文句に出会い、孔子との対話に心慰められたのである。

ところが、最後の堯日篇に読み進んだ時、これまでの孔子像が一変するような驚きに陥った。それは次のような文句であった。「子曰く、君子は恵して費やさず、労して怨まれず。子張曰く、何をか恵して費やさずと謂う。子曰く、民の利する所によりてこれを利す。これまた恵して費やさざるにあらずや。その勞すべきを忤びてこれに勞す、また誰をか怨みん。」ここに、孔子の意外な現実家としての顔を見て驚いたのである。

それまでは、礼とか仁とか義というような徳目が目についていた。しかも、雍也篇の最後の文章はこれとまったく異なるからである。「子貢曰く、もしよく博く民に施してよく衆を済すくわば如何。仁と謂うべきか。子曰く、何ぞ仁を事とせん。必ずや聖か。堯舜もそれ猶これを病めり。」孔子はここで済民がいかに困難であるかを語り、まずは自分が仁者となって周囲に仁を及ぼすという消極的な個人の立場に立っている。

なお、経済の語源に触れると、それは抱朴子「聡

明大智をもって、經世済俗之器に任ず。」からきているといわれている。經国済民すなわち国をはか経り、民を済すくう。孔子の済衆、抱朴子の済俗、そして済民、みな同じ意味である。要するに、経済の漢字の意味は、国を治め、世の民を救済するということである。

雍也篇では、仁の政治、恩恵を与えて難民を救済することは至難の術であり、仁であるどころか聖であるといっている。それに対して、堯日篇では、費用をかけずに恩恵を施すことができると、こともなげに言っている。しかも、国民を働かせても怨まれないと言うのである。それが可能なのは、国民の利益になることに向って働かせば、国民は喜んで働くからである。利をもって国民を誘導し、利を生み出す政治指導の方法を説いている。それに続けて、「君子はその衣冠を正しくし、その瞻視を尊くし、儼然たり。人望みて之を畏る。」と言うに至っては、これまで王道を説いてきた孔子が、にわかにも霸道にも理解を示しているように見えてくるがどうであろうか。

気ばらしのつもりで読み始めた論語ではあったが、最後のページになって、突如として現実の世界に引きもどされ、専門の経済学についてあれこれ考えさせられることになってしまった。古典の面白さというべきであろうか。(イギリス経済史)

一冊の本

—印象に残ったこの一冊—

中 根 千 枝

「タテ社会の人間関係」

講談社 昭和52年

本館所蔵(分類番号09K・361・1)

日本の社会は「タテ社会」と言われるが、これを理解するには、タテ社会の構成要因が「場」であるということを認識しておかねばならない、ということが中根千枝の「タテ社会の人間関係」に書かれてある。

「場」における集団は資格の異なる者が同一集団成員となるので、集団結集力を高めるためには、常に一体感をもたせる働きかけが必要であり、情動的な結びつきをもたなければならない。その結果、情動的な結びつきをもたない他の集団とはうまくゆかず、ヨコの関係ができにくくなる。日本において、異なる企業の同一職種によってできる職種別組合ができにくく、企業別組合が多いということは、この「場」の社会を反映したよい例であろう。

情動的な結びつきを必要とする結果、その集団は論理よりも感情を重要視するようになる。「場」を重視する社会においてそのリーダーに要請されるものは、権利・能力といったものではなく、組織の和を保つための人間に対する理解力、包容力といったものになるであろう。

私達の社会で、情動的な結びつきである人間関係がいかに重要か、またなぜ重要なのか、そして人と接するにあたっていかなる態度が理想的であるかをこの本は私によく教えてくれた。

法学部 法律学科3年 串 部 雅 裕

曾 野 綾 子

「二十一歳の父」

新潮社 昭和38年

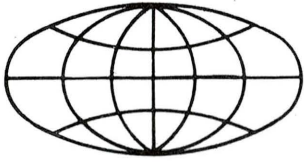
本館所蔵(分類番号 913・6S 22・5)

この原稿を前に考えこんだ。私にとって一冊の本とは何なのかと。正直言って、人生の指針となるような本にはまだ巡り合えていないような気がする。だから私は、そんな一冊を求めて手当たり次第本を読んでいるのだと思う。

では、そんな私が何故曾野綾子の「二十一歳の父」を選んだかと言うと、是非今の大学生に読んでもらいたいからだ。というのも、状況設定がまさに現代学生の実態と似ている。社会的に地位のある父を持ちながら、三流大学に通う基次と秋穂。その見栄も気負いもない生きざまが、この小説のテーマだ。けれども、盲目の娘と結婚し、まさしく「二十一歳の父」となった基次は、妻と子を交通事故で失うと、後を追うように自殺する。親友の秋穂は、小説の最後の場面で、大学教授である父に微かに笑って言う。「奴は絶望したから生きていけなくなった。僕は絶望したから気楽になって何にでもなって生きていけるんだ」と。

この本は、大学生の目を通して、大学の在り方や学歴社会、エリート意識を痛切に批難している。その中で、いかに生きていくかを模索している主人公達の姿は感動的だった。自分を見失わないという作業は容易ではない。けれども、この本を読んで、誰でも一度は自分を振り返って欲しいと思った。

文学部 国際文化学科3年 伊 東 千 寿



外国図書館シリーズ

—— アメリカ ——

University of California, Los Angeles (UCLA)

825 Hillgard, Los Angeles,
California 90024

商学部教授 小 森 俊 介

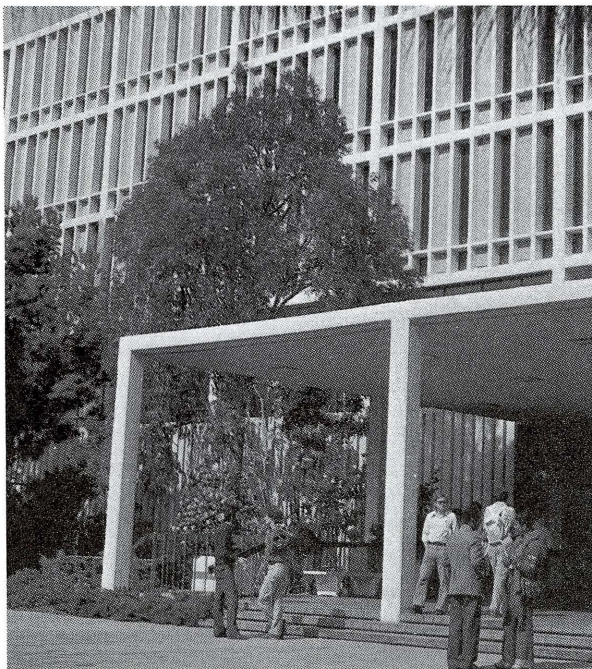
Santa Monica山麓のWest Woodに166.32万平米の土地をキャンパスに、Parkingを含めて135の建物を持つのが現在のUCLAである。数にして、この10%強の建物を占めているのがUCLAの図書館施設である。その殆どは、日本流に言えば医学部、工学部をはじめとする13学部に併設され、Research Libraryだけが、南カリフォルニアの深い緑に囲まれた北キャンパスにあって、明るい紺青の空にひときわ聳え立っている。

この雄姿が象徴しているように、UCLAの図書館施設は、1982年にはHarvard, U. C. Berkeley に次いで全米の大学で第三位になった。所蔵の文献資料は全体で450万点に及ぶが、それ以上に充実ぶりが認められたのは、学生達の利用を指導する専門司書の存在で、15箇所にある図書館の閲覧室に常駐していて、その数は100名に達すると

言われている。私が利用したのはGraduate School of Management と Research Library ほか四箇所位であるが、彼(女)達は実に的確な指示を与えてくれたものである。但し高級な英語がわからず苦労も多かった。

特殊なもの(例えば学位論文など)を除いて、全部

開架式で閲覧室にかぎり持出し自由、館外帯出には手続きが要る。どこの図書館にも出入口に、空港で搭乗のときにくぐる金属探知機のような施設があって、手続きを忘れて蔵書を帯出していると、「ピンポン」とチャイムが鳴る。出口のバーがピシッと閉まり、側の係員から「You miss!」と鋭い声かけられる。その場で済ませばいいのであるが、なんとも恰好の悪い仕儀と相成る。正しく手続きをしても、



(The University Research Library)

そこを出るときはビックビックしてしまう。できるだけ館外帯出をしないようになる。開館時間も8:00AMから10:00PM、日曜日午後からは開く。とにかく利用が多いのに、書架の整理は非常に良く、殆どは学生アルバイトの仕事になっている。また図書館側も利用については実情に合わせながら、よく指導している。つまり図書館が提供する

サービスの良否は、利用者の利用の仕方に左右されるから、利用者各人に対し、必要な文献資料がないときも含めて、それぞれ最適の図書館施設の利用方法を考えるよう勧めている。その手助けをするのが前記の専門司書達である。さらに市内の

大学や市立図書館との相互貸出しシステム、遠く離れた同じカリフォルニア州立大学の Irvine, Riverside, San Diego, Santa Barbara へはバスサービスが提供されている。勿論、UCLAの図書館施設自身、文献資料、記録、写真などの収集に努力している。とくに重要な文献など同じものを何十冊と揃えている。例えばアダムスミスの国富論などカードだけがケース1個分あって数百冊になるだろう。有料であるが、コンピューターによる文献検索システムもある。これは眼が疲れるのが難点である。

学術雑誌も定期刊行物であるかぎり全世界から集めている。古くなると順次製本していくが、GSMの図書館では、Micro-Film にしている。これは学生の利用が多く、痛みが激しいからである。Research Libraryをはじめ一部の図書館には、点字図書とその読書室が用意されている。typewriter も copy も有料で開館中は何時でも使える。

特筆すべきはResearch LibraryのOriental Libraryで、日本、韓国、中国、の文献が特別に揃えている。日本の分が70%を占めるが、その中に戦前の国粋主義思想に関する文献が並んでいる。戦争中

の中国人、韓国人に対する残虐行為を告発する本もある。この類の本を見たあと、キャンパスでアジア系の留学生に会うと、思わず肩身が狭くなっていくを感じる。「孫子の代まで～」とはこういうことかと改めて考えさせられた。

此処の日本人の係員から昭和40年代以降の経営学の文献を教えてほしいと頼まれ、20点程紹介したら、全部購入したのはびっくりした。財政難とは言え必要なことはのがさなくやる。アメリカのプロ意識と言えようか。

もう一つ、数ある日本の定期刊行物の中に自民党の機関誌「自由新報」がある。「日本の政治を知るにはこれで十分」とのこと。野党の影響が実質上殆どないのが日本の政治ではないかというわけである。日本が外国に与えている政治の実情はこういうものかと妙に感心させられた。

UCLAの図書館施設について言うことがあるとすれば、研究と教育の両面の活動の中心になって、真に「生きている」ということ、それが世界的規模で動いているということである。これは私の利用1箇年の実感でもある。(マーケティング論)

レファレンス事例 (12)

参 考 係

〔質問1〕 失業者の定義は各国で異なっているようですが、ヨーロッパの各国別に説明したものがほしい。

回答例： EC統計局の出している「Definitions of Registered Unemployed」(Office for the Official Publications of the European Communities, 1982)を見ると、EC加盟国10ヶ国の各国別の詳細な説明がしてある。失業に関する統計資料を読むのに大変参考になる。

〔質問2〕 昭和10年の小学校の授業時間数を知りたい。

回答例： 当時の現行法令を見ればよい。「現代

法令全集」(日本評論社、昭11)の第5巻：地方篇・教育篇の教育篇、小学校令施行規則に載っている。尋常小学校、第4号表、高等小学校は5号表、6号表に依る、とある。

ちなみに当時の尋常小学校の授業時間数は、週当たり21時間となっている。

〔質問3〕 小泉八雲についての研究資料を、図書と雑誌からは収集したが、その他全集などに載っているものを探したい。

回答例： 「現代日本文学総覧シリーズ」1～3巻(各2巻)全6冊(日外アソシエーツ、昭57)の2巻：全集・作家名総覧の小泉八雲の項を見ると、個々

の作品とその収載されている全集名の後に、解説記事、年譜、参考文献など全集に収載されているものは出ている。

なお、この総覧シリーズの1巻：内容総覧（全集の1巻ごとの作品名、著者名）、3巻：作品名総覧（個々の作品がどの全集に収載されているか）となっている。

〔質問4〕 学術博士についての規程を知りたい。

回答例：「大学関係事務提要」（ぎょうせい）の1巻第2章、学校教育第4節、学位の項に「大学院設置基準の制定及び学位規則の一部を改正する省令の制定について」（昭和49年文部省令第29号）に学

術博士の新設（昭50.4.1施行）として、2項よりなる説明が付いている。

〔質問5〕 判例の引用にRucker v. Gascon, 284 F. 2nd 244 (C. A. D. C. 1960) とあったがこの判例の探し方がわからない。

回答例： アメリカの判例集 Federal Reporter の 2nd Series の 284巻 244頁、裁判所は Court of Appeals の District of Columbia Circuit のもので、判決の年は1960年である。「外国法の調べ方」田中英夫（他）編（東京大学出版会、昭和49）を参考に回答した。

資料紹介

■ Fin-de-Siècle periodicals on microfilm

19世紀末雑誌類マイクロフィルム

文学部教授 中村 栄子

タイトルがフランス語と英語のちゃんぽんになっていることからわかるように、これはフランスの19世紀末の定期刊行物30点について、全内容をマイクロフィルムに収めたものである。製作はイギリスで（またはイギリス人によって）行われたが、それは倒産して、現在アメリカの会社によって販売されているもようである。

fin de siècleという言葉は、どの世紀末を指してもよいはずなのに、19世紀末だけを指すかのように使われているのは、この時期がフランス文化の歴史の中で、きわめて顕著な特色を示しているからである。それはベル・エポック（うるわしき時代）と呼ばれ、平和と繁栄を享受していたパリが、世界の文学・美術・音楽・演劇などの創造と鑑賞の中心となっていた時代である。そしてこれらすべての芸術分野が、一つの時代色に深く染められていた。象徴主義とも、耽美主義とも、デカダンスとも呼ばれる、夢幻と華麗と憂愁を合わせたような色である。ギュスターヴ・モローの絵がそれを最もよく表現している。

それはまた同人文芸誌の時代であった。詩人、

小説家、画家が小さなグループを作って助け合いながら作品を発表した。20世紀文学の担い手となったヴァレリー、ジード、ブルーストなどが大学生の年令で、マラルメ、アンリ・ド・レニエなどの先達の批評や激励に一喜一憂しながら小さな同人誌に処女作を発表した。それに有名無名の画家がさし絵をかいた。文学史にも記入されていないような小詩人の作品にもすぐれたものがあり、才能や意欲のほかに、時の運というものの介在を感じさせる。

このような同人誌は発行部数が少なく、紙や装丁も悪くて保存できにくいため、内容を見たいと思えば、パリの国立図書館とか、市立図書館の別室であるジャック・ドゥーセ文庫に通うほかなかった。それが今や全部マイクロフィルムに収められ、居ながらにして閲覧できるのである。象徴主義を超えて現代まで生き残った総合文芸誌、メルキュール・ド・フランスは75年分がすべて収められている。ただし今図書館にあるマイクロリーダーでは、2時間も見ていると目がつぶれそうである。（フランス文学）

昭和 57 年度 図書館各種統計

●どんな内容のものがどれだけ増加したか。

○図 書

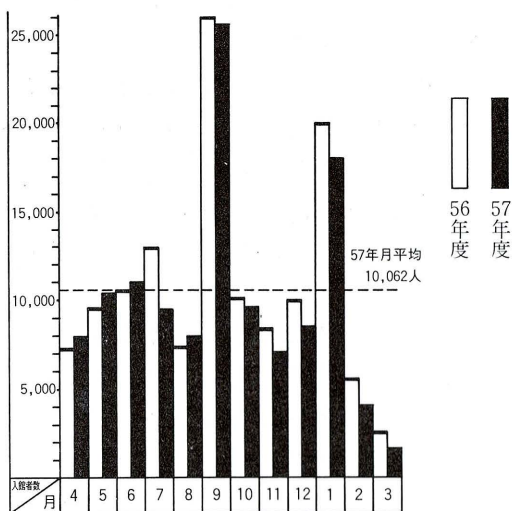
(単位：冊数)

分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
和書	752	1,022	899	5,684	827	326	751	461	391	1,475	12,588
洋書	296	790	393	2,829	303	110	392	58	792	1,646	7,609
計	1,048	1,812	1,292	8,513	1,130	436	1,143	519	1,183	3,121	20,197
56年度 和洋合計	1,403	1,479	1,567	8,184	958	395	1,220	637	1,195	3,039	20,077

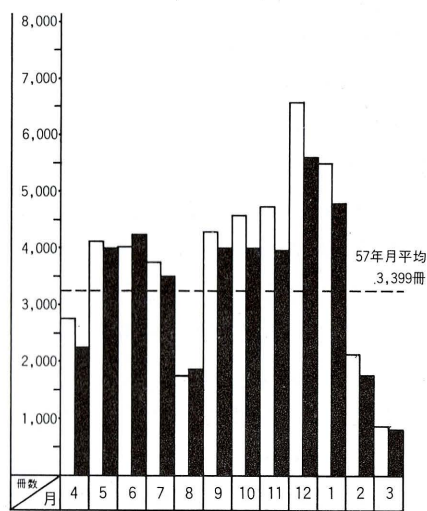
○視聴覚資料

レコード	テープ	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	フィルム	スライド	絵話	計
25枚	44リール	435リール	13点	9本	2本	10点	530件

●この2年間にどれだけ利用されたか。

(56年度 開館日数 273日)
(57年度 開館日数 276日)表Ⅰ
入館者数

年度	合 計	1日平均
56	131,140 人	480 人
57	120,748	437

表Ⅱ
館外貸出冊数

年度	合 計	1日平均
56	45,215 冊	166 冊
57	40,792	148

●その他の利用統計

○文 献 複 写 ※ () 内は56年度

利用者区分		電 子 複 写		マイクロフィルムからの引伸	
種別					
学 内	教員	965 件 (1,014)	31,333 枚 (28,579)	4 (1) 件	210 (6) 枚
	学生	4,593 (5,834)	59,646 (46,527)	0 (0)	2 (0)
学 外		403 (451)	8,942 (7,855)	2 (0)	392 (0)
合 計		5,961 (7,299)	99,921 (82,961)	6 (1)	602 (6)

○他大学図書館へ本学々生の相互利用希望 61件 (36)

○視聴覚機器貸出 9件 (10)

○学生の図書購入希望 88件 (278)

○投 書 3件 (2)

○紛失弁償図書冊数 19冊 (21)

○閉架図書閲覧者 3,405名(2,659)

その内訳

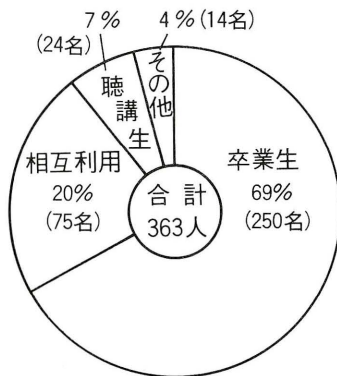
卒 業 論 文 471名 (284)

図 書 1,143名 (817)

レ コ ー ド 77名 (116)

その他(新聞・雑誌) 1,714名(1,442)

○特 別 利 用



(特別利用者363人の内訳)

☆ ニ ュ ー ス ・ お 知 ら せ ☆

〈図書館委員会〉

58.4.28 ① 58年度共通研究図書費、一般図書費
新聞・雑誌費の配分について

〈研修・出張〉

○昭和58年度私立大学図書館協会西地区部会
九州地区協議会

58.4.25 於：北九州市 ひびき荘
糸園館長、刀根司書長出席

○昭和58年度九州地区大学図書館協議会総会

58.4.26 於：北九州市 ひびき荘
糸園館長、刀根司書長出席

○昭和58年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会

58.5.24 於：九州歯科大学

刀根司書長、世戸司書出席

○第4回 EDCセミナー

58.5.26・27 於：同志社大学

小嶋司書出席

〈新図書館長に後藤泰二教授選出さる〉

図書館長に、商学部の後藤泰二教授(保険論、企業形態論)が選ばれました。

任期は、58年7月1日より60年6月30日までの2年間です。

〈新図書館委員紹介〉 (任期S. 58.7.1~59.6.30)

- | | | |
|----------|---|-----------|
| 1. 神 | 学 | L. K. シート |
| 2. 英 | 文 | 安河内 英 光 |
| 3. フランス語 | | 太 田 和 男 |
| 4. 商 | 学 | 大 矢 繁 夫 |
| 5. 経 | 済 | 井 坂 文 夫 |
| 6. 法 | 学 | 山 田 洋 |
| 7. 教 | 養 | 菱 谷 晋 介 |
| 8. 児 | 教 | 堺 太 郎 |

〈人事〉

- 首藤 マヤ 退職 (58. 4. 30付)
 富永 典子 退職 (58. 6. 30付)
 丸田理栄子(庶務課より図書館へ) (58. 5. 15付)

〈ベストセラーズコーナーの新設〉

2階開架閲覧室の新着雑誌コーナーの1角(以前の指定図書備付場所)を、今度ベストセラーズコーナーに衣替えして、過去20年間ぐらゐのベストセラーズを購入して備付けにしました。現在徐々に増えてきておりますので、早急に整理して利用できるようにしたいと思います。貸出、閲覧等普通の図書と同様ですのでご利用ください。

なお、これにともない指定図書コーナーは、向正面突き当りの壁面に配置替えをしました。

※昭和36年以降のベスト1

- | | | |
|-------|-------------|----------------------|
| (昭36) | 英語に強くなる本 | 岩田一男 |
| (昭37) | 易入門 | 黄小娥 |
| (昭38) | 危ない会社 | 占部都美 |
| (昭39) | 愛と死を見つめて | 河野 実、大島みち子 |
| (昭40) | 日本の歴史 1~10 | 井上光貞他 |
| (昭41) | 氷 点 | 三浦綾子 |
| (昭42) | 頭の体操 | 多湖 輝 |
| (昭43) | どくとるマンボウ青春記 | 北 杜夫 |
| (昭44) | 天と地と | 海音寺潮五郎 |
| (昭45) | 冠婚葬祭入門 | 塩月弥栄子 |
| (昭46) | 日本人とユダヤ人 | イザヤ・ベンダサン |
| (昭47) | 恍惚の人 | 有吉佐和子 |
| (昭48) | 日本沈没 | 小松左京 |
| (昭49) | かもめのジョナサン | リチャード・パーク
(五木寛之訳) |

- | | | |
|-------|--------------|--------|
| (昭50) | 播磨灘物語 | 司馬遼太郎 |
| (昭51) | 翔ぶが如く 1~7 | 司馬遼太郎 |
| (昭52) | 間違いだらけのクルマ選び | 徳大寺有恒 |
| (昭53) | 和宮様御留 | 有吉佐和子 |
| (昭54) | 算命占星学入門 | 和泉宗章 |
| (昭55) | シルクロード 1~4 | NHK取材班 |
| (昭56) | 窓ぎわのトットちゃん | 黒柳徹子 |
| (昭57) | 悪魔の飽食 | 森村誠一 |
- (「出版年鑑」1983より)

(年度のベスト10まで注文していますが、既に廃刊等で入手不可能なものもありますのでご承知おきください。)

告 知 板

○夏休み長期貸出

7月1日(金)より。

冊数は5冊以内で返却期限は9月19日(月)まで。
 貸出対象は学部学生、専攻科生で、大学院生は20冊まで。

○夏季休暇中の開館および休館

開館 日曜日を除く毎日 9:15~21:00

休館 8月1日(月)、2日(火)は職員修養会。

8月13日(土)、15日(月)は盆休み。

1階学習室は休暇中閉室

○卒業年次生のための特別利用

①貸 出

卒論作成のための貸出があります。通常の貸出のほかに3冊以内、1ヵ月間利用することができます。グリーンの卒論用帯出証で利用します。

②先輩の卒業論文の閲覧

卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧することができます。

①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければなりませんので、希望者はあらかじめ受付に申し出て用紙の交付をうけてください。